

## 平成 29 年度(4 月～10 月)の利用状況と決算見込みについて

平成 29 年 12 月 13 日  
あいの風とやま鉄道株式会社

## 1 利用状況

## (1) 1 日当たり利用者数

平成 29 年 4 月～10 月の 1 日当たり平均利用者数は 41,873 人で、前年同期の利用者数(41,763 人)と比べると、0.3%の増加となっています。

利用者の内訳でみると、通勤定期の利用者は 14,061 人で前年比▲1.5%の減少となっている一方で、通学定期は 16,884 人で 2.4%の増加となっています。

また、定期外利用者は 10,928 人で▲0.7%の減少となっています。

以上のように、全体としては、通学定期の利用者の増加で利用者の増加を維持している形となっています。

なお、定期外利用者のうち、ICカード利用者は前年比 50.4%の増加となっており、本年 4 月からの利用範囲の広域化が ICカードの普及に大きな効果があったことがわかります。

表1 平成 29 年度 利用状況 (4 月～10 月)

(単位人/日)

項 目	H29						H28		前年 同期比%		
	第一 四半期	前年 同期比	第二 四半期	前年 同期比	10 月	前年 同期比	4 月から 10 月まで	4 月から 10 月まで			
一 当 た り 輸 送 人 員	定 期	通 勤	14,266	▲1.9%	14,319	▲1.4%	13,763	▲0.5%	14,061	14,274	▲1.5%
		通 学	18,084	2.6%	17,329	2.3%	16,667	2.4%	16,884	16,484	2.4%
		計	32,351	0.5%	31,648	0.5%	30,430	1.0%	30,945	30,759	0.6%
	定 期 外	乗車券類	8,496	▲7.5%	9,616	▲10.6%	7,734	▲13.1%	8,460	9,363	▲9.6%
		SF乗車	2,324	50.0%	1,584	51.6%	2,442	47.8%	2,468	1,641	50.4%
		計	10,819	0.8%	11,200	▲1.2%	10,176	▲3.6%	10,928	11,004	▲0.7%
合 計	43,170	0.6%	42,848	0.1%	40,605	▲0.2%	41,873	41,763	0.3%		

## (2) 前年比の利用状況

月別の利用者数の対前年比の状況を見ると、通勤定期については、各月とも前年を下回っていますが、徐々に回復傾向となっています。

通学定期については増加傾向となっており、これは、沿線での新たな専門学校の開設等の影響が反映されたものと考えられます。

定期外については、年度当初は前年を上回っていましたが、特に 10 月は大きな減少となっています。

北陸新幹線の利用状況と比較しても、同じような傾向となっており、10 月については台風の影響などによるものと考えられます。 [別紙 1・2・3 参照]

## 2 運賃収益の状況

平成 29 年 4 月から 10 月までの 7 か月間の運賃収入は、約 17 億 43 百万円で前年同期に比べ、▲0.6%の微減となっています。

内訳をみると、定期については通勤が▲1.9%の減少、通学が 2.8%の増加で合計では▲0.3%の減少となっています。

定期外は▲0.8%の減少となっています。

利用者数では、前年並みを維持していますが、一人当たりの支払運賃が大きい定期外が減少しているため、運賃収益は減少という形になっています。

表2 運賃収益 (H29年4月～10月)

(単位 千円)

項 目			H29						H28		前年 同期比%
			第一 四半期	前年 同期比	第二 四半期	前年 同期比	10月	前年 同期比	4月から 10月まで	4月から 10月まで	
運賃収益	定期	通 勤	214,185	▲2.1%	211,737	▲2.1%	70,410	▲0.9%	496,332	506,192	▲1.9%
		通 学	130,725	3.0%	113,513	2.6%	40,938	3.0%	285,175	277,333	2.8%
		計	344,910	▲0.3%	325,250	▲0.5%	111,347	0.5%	781,507	783,525	▲0.3%
	定期	乗車券類	321,680	▲7.6%	339,295	▲11.0%	100,776	▲14.4%	761,752	846,836	▲10.0%
		SF乗車	79,781	61.1%	91,649	65.2%	28,898	61.0%	200,328	122,957	62.9%
		計	401,461	1.0%	430,943	▲1.3%	129,675	▲4.4%	962,080	969,793	▲0.8%
	外	計	401,461	1.0%	430,943	▲1.3%	129,675	▲4.4%	962,080	969,793	▲0.8%
	合 計	746,372	0.4%	756,193	▲1.0%	241,022	▲2.2%	1,743,587	1,753,319	▲0.6%	

### 3 決算見込み

平成29年10月末までの収支状況を基に平成29年度の年間決算見込みを算定してみると下記のとおりとなります。

#### ○概要

収益については、概ね、前年並みの金額を確保できますが、支出については除雪費を前年並みの降雪で見込むことなどから、経常損益は▲352百万円の赤字で前年度赤字額を128百万円程度、上回る見込みです。

このため、運賃抑制分や乗継割引分等を支援する県経営安定基金からの繰入金は予算額(476百万円)を120百万円下回る356百万円(H28:220百万円)とすることが可能となり、この場合の最終損益は3百万円程度の黒字となります。

#### (1) 収益

収益については、運賃収益は前年度決算からは若干の減少となりますが、29年度予算額を上回る見込みです。

貨物の線路使用料は、本年3月でのダイヤ改正による客車の増発等による貨客比率の減少により予算額からは減少が見込まれます。

清算収入は、本年3月で近隣3社での共同指令が終了したことにより、この関係の収入がなくなったため、前年比では大きな減少になっております。

関連事業等の収入額については、コインロッカーの収入額が増加しているなど、全体的に堅調に推移しています。

#### (2) 費用

人件費は、社員のプロパー化の進展による給料単価の減少により、大幅な減少となっています。

動力費、業務費・委託費については、単価の上昇や業務範囲の拡大等により増額となっています。

修繕費は現状では、ほぼ、予算額どおりの執行を見込んでいます。前年から増加している要因は、今年度は定期検修の対象車両が多くあったことによるものです。

清算費用については、共同指令終了に伴う減少となっています。

諸税・減価償却費は、開業後の取得資産の増加により、徐々に増加していく形となっています。

なお、除雪費は現状では、予算額を全額執行することとしておりますが、これについては、今冬の降雪状況等により大きく変動することとなります。

### (3) 損益等

現時点での営業損益は、▲195百万円の赤字となっております。

営業外収支として、受託工事関係の収益と費用の計上、さらに開業費償却後の経常損益では▲352百万円の赤字となっております。

前年度比較では、営業損益で約1.5億円、経常損益で約1.3億円の赤字額の増加となっております。

### (4) 基金繰入等

以上の損益見込から、今年度の県経営安定基金の繰入額は約356百万円程度になると見込まれます。(予算額は476百万円)

## 平成29年度 決算見込み

(単位 千円)

科目	H29			H28 決算	対前年比
	予算	決算見込み	差引		
運賃	2,880,000	2,899,750	19,750	2,920,777	-21,027
鉄道線路使用料収入	2,105,000	2,069,000	-36,000	1,849,499	219,501
関連事業	205,375	208,953	3,578	202,550	6,403
清算収入	461,300	465,465	4,165	740,330	-274,865
その他	5,240	11,072	5,832	30,831	-19,759
<b>【売上総利益】</b>	<b>5,656,915</b>	<b>5,654,240</b>	<b>-2,675</b>	<b>5,743,987</b>	<b>-89,747</b>
人件費	2,041,743	1,916,997	-124,746	2,063,611	-146,614
動力費	250,000	255,000	5,000	239,359	15,641
業務費	727,948	718,949	-8,999	676,682	42,267
清算費用	537,074	531,074	-6,000	684,958	-153,884
修繕費	2,027,969	1,979,969	-48,000	1,879,790	100,179
除雪費	212,720	212,720	0	50,821	161,899
減価償却費	55,000	72,000	17,000	50,548	21,452
租税公課	154,000	162,628	8,628	143,724	18,904
<b>【販売費及び一般管理費】</b>	<b>6,006,454</b>	<b>5,849,337</b>	<b>-157,117</b>	<b>5,789,493</b>	<b>59,844</b>
<b>【営業利益】</b>	<b>-349,539</b>	<b>-195,097</b>	<b>154,442</b>	<b>-45,506</b>	<b>-149,591</b>
<b>【営業外収益】</b> (受託工事等)	<b>1,179,531</b>	<b>366,667</b>	<b>-812,864</b>	<b>84,519</b>	<b>282,148</b>
開業費償却	188,997	188,997	0	191,120	-2,123
受託工事費用等	1,084,978	334,816	-750,162	71,857	262,959
<b>【営業外費用】</b>	<b>1,273,975</b>	<b>523,813</b>	<b>-750,162</b>	<b>262,977</b>	<b>260,836</b>
<b>【経常利益】</b>	<b>-443,983</b>	<b>-352,243</b>	<b>91,740</b>	<b>-223,964</b>	<b>-128,279</b>
経営安定基金	476,000	356,000	-120,000	220,000	136,000
補助・工事負担金等	1,835,944	1,785,443	-50,501	1,994,734	-209,291
雑利益(特別利益)	0		0	1,322	-1,322
<b>【特別利益】</b>	<b>2,311,944</b>	<b>2,141,443</b>	<b>-170,501</b>	<b>2,216,056</b>	<b>-74,613</b>
<b>【特別損失】</b> (圧縮等)	<b>1,834,194</b>	<b>1,784,944</b>	<b>-49,250</b>	<b>1,973,475</b>	<b>-188,531</b>
<b>【税引前当期純利益】</b>	<b>33,767</b>	<b>4,256</b>	<b>-29,511</b>	<b>18,617</b>	<b>-14,361</b>
法人税	29,106	1,230	-27,876	11,705	-10,475
<b>【当期純利益】</b>	<b>4,661</b>	<b>3,026</b>	<b>-1,635</b>	<b>6,912</b>	<b>-3,886</b>

(平成29年12月1日作成)